



Cisco ACI スイッチの混合バージョンで許可される操作

- [Cisco ACI スイッチの混合バージョンで許可される操作 \(1 ページ\)](#)
- [Cisco ACI-Mode スイッチの混合バージョンの注意事項と制約事項 \(5 ページ\)](#)

Cisco ACI スイッチの混合バージョンで許可される操作

Cisco Application Centric Infrastructure (ACI) ファブリックには基本的に、すべてのノード (Cisco Application Policy Infrastructure Controller (APIC)、リーフスイッチ、およびスパインスイッチ) に同じソフトウェアリリースまたは互換性のあるソフトウェアリリースが必要です。この場合、Cisco APIC ノードの標準リリースフォーマットは x.y (z)、リーフおよびスパインスイッチには、スイッチ固有の標準リリースフォーマットの 1x.y (z) があります。たとえば、Cisco APIC ノードがソフトウェアリリース 4.1 (1) 上にある場合、リーフスイッチとスパインスイッチは、スイッチ固有のバージョン 14.1 (1) である必要があります。

ただし、この状況では通常、スイッチ ノードを複数の異なるグループ (メンテナンス グループ) に分割することになるため、多数のスイッチ ノードを持つ大きな Cisco ACI ファブリックのソフトウェアをアップグレードしようとする、これは困難な要件となる可能性があります。これにより、一度に1つのアップグレードを実行して、サービスの中断を回避できます。スイッチ ノードまたはメンテナンス グループの数、およびネットワーク トラフィック、サービス、およびアプリケーションの検証プロセスに応じて、1日のメンテナンス グループをアップグレードできますが、その他のメンテナンス グループのアップグレードを待つ必要がある場合があります。

リリース 2.2 (1) 以降では、ソフトウェアのアップグレードによりすべての Cisco ACI スイッチが同じバージョンになっていない場合でも、一部の操作を実行できます。この動作は、リリース 2.3 (1) で拡張され、この状況で実行できるさらに多くの操作をサポートするようになりました。次の表では、リリース 2.2(1) および 2.3(1) 以降のスイッチが混在リリースにある場合に実行できる操作について説明します。

アップグレードパスごとに混合バージョンでサポートされる操作

アップグレードパス		サポートされる操作
移行前	移行後	
2.2(x)	サポートされているアップグレードパスのすべてのバージョン	<ul style="list-style-type: none"> 設定のエクスポート テクニカル サポートの収集 物理的なネットワークの変更(再起動、ケーブル交換など) メジャーリリースの前に導入された機能のポリシー変更*
2.3(x) 以降	サポートされているアップグレードパスのすべてのバージョン	<ul style="list-style-type: none"> 設定のエクスポート テクニカル サポートの収集 物理的なネットワークの変更 (例: 再起動とケーブル交換) メジャーリリースの前に導入された機能のポリシー変更* 機能のポリシー変更: リリース 2.3(x) 以降からのアップグレードでバージョンが混在する場合にサポートされる操作 (2 ページ)

*この操作は、アップグレードが同じリリーストレイン内にある場合のみサポートされます。たとえば 3.2 (5d) から 3.2 (5f) へのアップグレードであり、リリースは 3.2 (5) リリースのトレーニングの一部ですが、そのリリースの **d** と **f** のバージョンの間でアップグレードが発生します。

リリース 2.3(x) 以降からのアップグレードでバージョンが混在する場合にサポートされる操作

リリース 2.3 (1) 以降、Cisco ACI スイッチ上のネットワーク設定機能と混合 OS 動作中の変更に一覧表示したものに加えて、次の機能を Cisco APIC サポートします。

機能	操作
コントラクト	<ul style="list-style-type: none"> • フィルタ、件名、コントラクトを作成、更新、削除します。 • コントラクトをエクスポートおよびインポートします。 • EPG に関する提供および消費されたコントラクトを追加および削除します。 • vzAny で提供および消費されたコントラクトを追加および削除します。
エンドポイント グループ	<ul style="list-style-type: none"> • EPG の作成と削除。 • VMM、物理、外部、レイヤ2外部、レイヤ3外部ドメインの関連付けを追加および削除します。 • スタティック ポートの割り当ておよびノードへの静的リンクを追加、削除、更新します。 • 1 つの EPG から別の EPG にエンドポイントを移動します。 • uSeg EPG からベースに EPG にエンドポイントを移動します。
マイクロセグメンテーション	uSeg EPG を追加および更新します。
VMotion	リーフ スイッチ全体の vMotion。
VM 操作	仮想マシンのオンおよびオフ。
ブリッジドメイン	ブリッジドメインを作成、更新、削除します。
VMM ドメイン	次の操作は、VMware vDS および Cisco AV でのみサポートされません。 <ul style="list-style-type: none"> • VMM ドメインを作成し削除します。 • VLAN プールを作成し更新します。 • マルチキャスト プールを追加し削除します。 • VMware vCenter を追加し更新します。 • vSwitch ポリシーを追加し更新します。
レイヤ2またはレイヤ3アウト	レイヤ2外部およびレイヤ3外部ドメインを追加、更新、削除します。
アクセスポリシー	<ul style="list-style-type: none"> • スイッチ ポリシー、インターフェイス ポリシー、ポリシーグループ、接続エンティティプロファイル (AEP) を追加、更新、削除します。

機能	操作
トラブルシューティング	<ul style="list-style-type: none"> • SPAN 設定を追加、更新、削除します。 • syslog サーバーを追加、更新、削除します。
物理ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> • ポート ステータスを有効化および無効化します。 • 物理サーバのオンおよびオフ。 • リーフスイッチおよびリーフスイッチ間で物理サーバを移動します。 • スパインスイッチとリーフスイッチのリロード。 リロードがステートレスである場合、つまり、構成が消去されて Cisco APIC から再度プルされるクリーンリロードである場合、スイッチのリリースは Cisco APIC と同じである必要があります。 • スパインスイッチラインカード、ファイバチャンネルカード、CS カードと SUP カードのリロード。 • スパインスイッチとリーフスイッチのデコミッション。 • [コントローラから削除 (Remove from Controller)] オプションを使用してスパインスイッチとリーフスイッチを削除する。 • 新しいスパインスイッチおよびリーフスイッチの登録。 新しいスイッチには、Cisco APIC と同じリリースが必要です。 • 仮想ポートチャンネルドメインの追加と削除。 • プライマリリンク、セカンダリリンク、および仮想ポートチャンネル内のすべてのリンクをフラップします。 • すべてのポートチャンネルリンクをフラッピングし、ポートチャンネルで1つのリンクをフラッピングして、FEX で NIF ポートをフラッピングし、リーフスイッチの全面パネルポートをフラッピングします。
ファブリックポリシー	<ul style="list-style-type: none"> • NTP サーバー、SNMP、BGP ルートリフレクタ、レイヤ2 MTU ポリシーを追加、更新、削除します。 • Cisco APIC 接続設定を更新します。

次の定義は、Cisco APIC リリースについて説明するために使用されます。

- Cisco APIC メジャー リリースには、新しいソフトウェア機能およびその他のハードウェアの更新のサポートが含まれています。メジャーリリースの例には、2.2 (1n) と 2.1 (1h) が含まれます。
- Cisco APIC マイナーまたはメンテナンス リリース (MR) には、バグ修正や既存のリリースからのパッチが含まれています。マイナーまたはメンテナンス リリースの例には、2.0 (1m) と 2.0 (2f) が含まれます。
- Cisco APIC パッチリリースには、特定の不具合の修正が含まれています。パッチのリリースの例には、2.1 (1h) と 2.1 (1i) が含まれます。

Cisco ACI-Mode スイッチの混合バージョンの注意事項と制約事項

- [アップグレードパスごとに混合バージョンでサポートされる操作 \(2 ページ\)](#) で説明されているサポートされている操作を実行するには、最初にすべての Cisco Application Policy Infrastructure Controller (APIC) ノードを新しいバージョンにアップグレードする必要があります。すべての Cisco APIC ノードが正常にアップグレードされ、完全にアップグレードされるまで、操作を実行しないでください。
- 混合バージョンでサポートされる操作は、異なるソフトウェアバージョンを実行する vPC ペア リーフ スイッチには適用されません。vPC ペア スイッチは、すべての操作で同じソフトウェアバージョンを実行している必要があります。
- 混合バージョンでサポートされる操作は、アップグレードシナリオ専用です。ファブリックをダウングレードする場合、つまり APIC がスイッチよりも古いバージョンを実行している場合、これらは適用されずサポートされません。
- [アップグレードパスごとに混合バージョンでサポートされる操作 \(2 ページ\)](#) でリストされている操作を実行できるのは、古い(from)バージョンですでにサポートされていた機能に関連している場合だけです。
- 3.0 以前の Cisco APIC リリースでは、ファブリック内の Cisco ACI ノードのバージョンの違いを通知する赤いバナーの警告が表示されています。このバナーの警告は、Cisco APIC リリース 3.0 以降に削除されました。
- Cisco APIC が 5.2 (4) 以降のリリースを実行しており、スイッチで 15.2 (4) より前の Cisco ACI モード スイッチ ソフトウェア リリースを実行している場合、ピア ノードが廃止されると、vPC ドメインのインターフェイスは一時停止/ダウンになります。vPC ピア ノードのグレースフル挿入 (メンテナンスモード) でも、スイッチが自動的にデコミッションされ、リポートされ、再稼働されるため、同じ問題が発生します。次のシナリオ例では、この問題が発生します。
 - Cisco APIC が 5.2 (4) 、 6.0 (1) 、またはそれ以降のリリースを実行しており、vPC スイッチは -Cisco ACI モード スイッチ 14.2 (7u) 以前のリリースを実行しています。

- Cisco APICが 5.2 (4) 、 6.0 (1) 、またはそれ以降のリリースを実行しており、vPC スイッチはCisco ACI モード スイッチ 15.2 (3) 以前のリリースを実行しています。

次のシナリオ例では、この問題は発生しません。

- Cisco APICが 5.2 (4) 、 6.0 (1) 、またはそれ以降のリリースを実行しており、vPC スイッチでCisco ACIモードスイッチ 14.2 (7v) 、 15.2 (4) 、 16.0 (1) 、またはそれ以降のリリースを実行している。
- Cisco APIC 5.2 (3) 以前のリリースを実行している。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。